

栄ちゃんのカラオケ教室「二人の旅路」編



密かに愛を育んだ二人が全てのしがらみを捨て去り、
愛の逃避行に旅立つ日の熱い思いを歌い上げます。

新天地に向け旅立つ喜びとこれからの行く末に待ち受ける様々な障害や不安に
逡巡しつつも、手を取り合って二人で生きて行く強い決意を表現します。

この歌は基本的に男の目線から見て二人を取り巻く状況や、女性に思いを寄せる
男の気持ちやそれに答える女の姿を肌理細かく伝える様に丁寧に歌います。

まず前奏ですがイントロの導入部は軽やかなストリングスの響きと明るく天空にこだまするトランペットが、
旅立つ日の朝の晴れやかな二人の気持ちを表しています。澄み渡るようなトランペットの煌きは一点の曇りも
ない真っ直ぐな互いの純愛の表現で新生活を求めて旅立つ二人に相応しい心の昂揚感をいやが上にも盛り上げ
ます。ドラマの情景はイントロの華やかさに比べ生憎の雨模様、身軽な旅支度を整えた二人が一つの傘に身を
寄せ、思いを確かめ合う様に時折見つめ合います。緊張と寒さとこの先の行く末の不安感で女の肩先は震えて
います。そんな女をいたわる様に又、包み込むような熱い思いで女の肩を引き寄せます。(そんな情景を
心のスクリーンに映し出しながら)

歌いだしは ~そば降る雨の~ 旅立ちに相応しい爽やかな日和を望みたい所ですが、旅たちの日の空は
二人のこれからの多難な道のりを暗示してるようにも思えますし、又道行にはお似合いの相合傘と捉えても
結構です。そこは歌の全体を支配するトーンを御自身のカラーで判断して貰えればと思います。前者は演歌
的、後者は歌謡曲の歌唱法に成るかと思えますが、今回は前者の大川演歌的な歌唱法で説明します。

~そば降る雨の~ は明るいトーンで歌いだし ~冷たさに~ で少し恨めしげに。

2行目は ~震えるお前の~ ココはしっかりとリズムパターンに乗るように。又少し顔を小刻みに揺らす位の
感じでもやり過ぎという事はないと思います。要するに1行目はレガートに(滑らかに) ~そば降る雨の~ と
歌いだし情景描写する。それに答えて ~冷たさに~ で男の自分の感情を入れる。単純に生理的に自分の
身に受ける冷たいと言う感覚です。2行目はリズムに乗って。 ~震えるお前の~ 今度は女の情景描写です。
それに答えて ~肩の先~ で男の女への感情を表現する。愛おしいなあと言う感覚です。

3行目からはリズムパターンが変わりますので、正確にリズムに乗る心地よさと意図的にそれを外す心地
よさを味わって下さい。 ~悲しい噂が~ の悲しいは恣意的にねちっこく。特に ~しい~ はリズムを後に
引きずる位でもいいと思います。~噂が~ はその唱法に比べて真逆の乗りです。弾む様な拍子に順行のノリです。
噂話が勝手気ままに飛び跳ねて収集の着かないような状態をイメージします。そして ~立つ前に~。ここでは
言葉を語る感じで。リズムパターンの変化をバリエーションとして、又二人の愛を運ぶ列車は徐々にとその
スピードを上げて行きます。

4行目は永年住み慣れたふるさどが、段々と小さくそして遠くへと視界から消えて行きそうになります。

自分達で選んだ道ではあるけれど、二人の心に万感の思いが込み上げて来ます。

~逃れたふるさと~の ~逃れた~ は遠くに見えなくなりそうな景色に対して、喉を開いて大きく呼びかける
ように歌います。それに答えて ~ふるさと~ は心の内のふるさと。様々な思い出のシーンや仲間たちの顔を
思い浮かべる感じで。~あの町よ~ は文字通り現実に目に映る景色を前にして、惜別の情とその思いをぶつける
ように大きく歌う事。

そして5行目に入りますが ~離れられない~離さない~ この歌の核になっている部分です。

熱い思いの果てに今回の愛の逃避行を決行する動機になっている訳ですから、男の真情を歌い上げます。

ここで技術的に肝要な事は、この歌の音域のトップの音が出てきますが腹の底から声を出す事。又それが粗野に
ならない様に。4行目はふるさとに呼びかけたのですが、5行目は自分の気持ちを歌い上げます。甘さも切ない感
情も盛り込んで。そして技術的に一番大切な事はリズムに乗って。これを外しますとせつかくの名セリフが台無し
です。

そして6行目は ~命みちづれ~ 目の前にいる愛しい相手にその思いを囁き掛けます。

~命~とは二人の命です。~みちづれ~ はこれから手を取り合って歩いていこうと言う気持ちを持って。

要するに永遠の愛を捧げる相手への究極のメッセージです。

そして ~二人の旅路~ は文字通り肩を寄せ合い、中空を見上げ其の方向を又、其の将来を明るく歌い上げます。
ここでポイントですが2行目の~震えるお前の~の部分ですが~お前の~は前回の”風港”の唱法で言いました
がファルセットの使い方と正反対の技術です。

~お前の~のおが極端に低音部

に移りますのでここでは
胸部共鳴の響きを強調します。

そうすると男性的な

トーンが強調され歌全体にも
幅と奥行きが反映されます。

しかし強調されすぎると
ピッチがフラットに成りやすく、

又曲のトーンまで暗くなります

ので身体の余分な力を抜いて
柔らかく胸部に響かす事が

肝要です。